

# 会 議 録

## 1 会議名

平成28年度第3回大島区地域協議会

## 2 議題（公開・非公開の別）

### (1) 報告

- ・地区別懇談会の結果について（公開）

### (2) 協議

- ・引き継ぎ事項（自主的審議事項「少子化対策について」）の取扱いについて（公開）
- ・地域協議会委員の視察研修について（公開）

## 3 開催日時

平成28年7月25日（月）午後2時00分から午後3時00分まで

## 4 開催場所

大島コミュニティプラザ2階 市民活動室1

## 5 傍聴人の数

—

## 6 非公開の理由

—

## 7 出席した者（傍聴人を除く。）氏名（敬称略）

- ・委員：飯田國男、石塚総子、内山愛治、高橋光成、武江一義、中村朝彦、早川丈夫、丸田新一、丸田新一
- ・事務局：大島区総合事務所 古田所長、滝沢次長、渡辺主任、熊木主事  
浦川原区総合事務所 山崎産業グループ長、小林建設グループ長  
（以下グループ長はG長と表記）

## 8 発言の内容

### 【中村会長】

- ・会議の開会を宣言
- ・本日は3名の委員が欠席であるが、上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告
- ・本日の会議録の確認は、委員番号3番の内山委員にお願いする。

- ・議題1の地区別懇談会の結果について、事務局に報告をお願いする。

**【滝沢次長】**

- ・今年、42人の参加があったが、昨年と比較すると8人減少している。
- ・委員の皆様からも会場に足を運んでいただき、感謝申し上げます。
- ・総合事務所職員は、必ず1会場に出席し、担当業務以外の地域課題を認識する研修の場とさせていただいた。
- ・地区別懇談会で説明した内容は、平成28年度の大島区の主な事業、地域活動支援事業の採択結果、スーパーやまざくら店の経営状況についてである。
- ・詳細は、資料No. 1にあるとおりである。
- ・主だった意見は、各地区の国・県・市道等の不具合に関する修繕要望等であった。要望に対し、即対応できなかったものについては、今後提出される地区要望にあわせて、集約先総合事務所につなげる等の対応を図る。

**【中村会長】**

地区別懇談会の報告について、質問・意見等はないか。

(意見なし)

議題2の引き継ぎ事項(自主的審議事項「少子化対策について」)の取扱いについて、事務局に説明願う。

**【滝沢次長】**

- ・資料No. 2による説明
- ・この引き継ぎ事項について、取扱いをご協議願う。

**【中村会長】**

- ・この件について、どのように取り計らうか。
- ・前期の最終会に、全会一致で引き継ぎを行うと決めたわけだが、今期はメンバーも変わったため、継続審議を行うかどうか皆さんの意見をお聞かせ願う。

**【早川副会長】**

これまで、8回9回と会を重ねた中で結論が出ていないため、継続してはどうか。

**【石塚総子委員】**

ずっと解決策はでないとは思いますが、考え続け・話し合い続けるべき大切なことだと思うため、継続した方がよいと思う。

**【高橋光成委員】**

今までこの議題を検討されていたようだが、内容がわからないため、示していただきたい。

**【中村会長】**

- ・大まかには、資料No. 2のとおりである。
- ・過去に取り組んだ自主的審議事項は、様々な資料を検討したり、話し合いをしたりと1年以上から3年近くかけて議論していた。
- ・今回の少子化対策については、知りたいことに対して事務局に資料を提示してもらおうということを何回か行った。
- ・審議していた期間が半年であったため、調べた資料をまとめて方向をだすところまでいかなかった。
- ・毎年状況が変わるため、子育て支援や移住対策等の資料を出してもらって勉強や検討をしているうちに任期が過ぎた。

**【高橋光成委員】**

委員から具体策が上がってこなかったということでしょうか。

**【中村会長】**

会議録を見ていただくとわかるが、終盤に前会長がまとめたものは、上越やまざと暮らし応援団の話聞いたこともあり、移住者を呼び込む方策を検討しようという話にある程度集約されていたように思う。

**【高橋光成委員】**

石塚委員の言うように、答えが出ず難しいが、高齢者対策や人口流出も併せて今後検討すればよい。

**【丸田新一委員（委員番号10番）】**

- ・確かにこの問題は難しい。1年や2年で解決するものではない。
- ・空き家があつたりする中で、市の対策が上手くいっていないように思う。若い人がいなければ子どもも生まれない。
- ・昨年の第11回地域協議会で「移住者に対する新たな補助事業、支援策が示されたため、意見書の提出を見合わせた。」となっているが、具体的な内容が示されていないように思う。

- ・市がこの山間地にどう対策を行うのか、具体的に示さなければ、協議してもしかたがない。
- ・具体的な策が示されるまで、協議を継続してはどうか。

**【中村会長】**

継続するという意見が多いが、それで良いか。

(同意の声)

**【高橋光成委員】**

- ・先般、様々な問題に対して住民から声を上げてほしいという話もあったが、なかなかそういった知識や機会がなく難しい。
- ・有識者でグループを作って問題への対策を話し合うような会はないのか。

**【古田所長】**

今言われたような、議員や職員、住民での特別な委員会のようなものはない。議会であれば委員会の中で職員から情報を聞き検討する。職員であれば第6次総合計画の中で検討し、計画を作っている。それらの人が一堂に会して議論する場は作っていない。目標は多くあるが、それを実現するのは厳しいというのが実情である。必要な資料は配布する。

**【中村会長】**

- ・少子化対策についての自主的審議事項を第4期も継続して審議するということで決めさせていただく。
- ・半数の委員が同じ話を聞くことになるが、改選された新たな地域協議会であるため、昨年半年間の資料をもう一度まとめて、説明していただきたい。
- ・上越やまざと暮らし応援団の話を再度聞くかは、今後協議をしていただきたい。
- ・次に、議題2の地域協議会委員の視察研修について、事務局から説明をお願いする。

**【滝沢次長】**

- ・例年稲刈り前に視察研修を実施している。事務局としては、日程と方面をお決めいただきたい。
- ・日程については、9月1日木曜日でどうか。方面についてはここ数年、十日町市や津南町などの方面に行っているため、違う方面に行くのはどうか。希望があれば発言いただきたい。
- ・日程と方面が決まったら、研修の詳細を検討させていただく。

**【中村会長】**

- ・ 9月1日でどうかということだが、皆さんの予定はどうか。
- ・ 3期目は9月の始めに視察研修を行っていた。

(意見なし)

- ・ 9月1日で決めてよいか。

(同意の声)

- ・ 内容や場所等、事務局で腹案があれば説明をお願いします。

**【滝沢次長】**

- ・ 方面は、上越市中ノ俣方面と長野県小川村方面を検討している。
- ・ 小川村は、空き家対策・地域おこし協力隊・特産品での村おこしを行っている。
- ・ 委員の皆さんの中で、希望する場所や内容があればお聞かせいただきたい。

**【中村会長】**

- ・ 皆さんの中で「こっちへ行きたい。こういうことをしているところへ行きたい。」というものがあれば。
- ・ 過去に遠すぎて断念した場所もあるため、あまり遠くだと難しい。

**【早川副会長】**

- ・ 今までは松代を通過して魚沼方面、十日町市などが多かったように思うため、たまには県外でもいいのではないかと思う。

**【中村会長】**

他に意見はないか。

(小川村の声多数)

小川村でよいか。

(賛成の声)

事務局に詳細な予定の作成をお願いします。

**【滝沢次長】**

- ・ 9月1日木曜日、長野県小川村ということで詳細な予定を会長、副会長と協議しながら作成する。
- ・ 視察研修終了後、例年懇親会を行っているが今年も行ってよいか。

**【中村会長】**

皆さんどうか。

(行えばよいという声多数)

では、視察研修終了後、懇親会を行うということでお願いします。

以上で協議事項が終わったため、その他へうつる。事務局に配布資料の説明をお願いします。

**【滝沢次長】**

- ・任命交付式での市長の講話記録と第1回及び第2回地域協議会の会議録については、各自でご確認いただきたい。
- ・地域協議会委員の勤務先への協力要請について、必要な場合は事務局にご相談いただきたい。

**【中村会長】**

事務局の説明が終わったが、質問はあるか。

**【武江一義委員】**

先回欠席したのだが、会議録はどのくらいしてから見られるようになるのか。

**【熊木主事】**

1か月後くらいである。

**【武江一義委員】**

1か月だと次の会議になってしまう。前はそんなことなかったように思う。

**【熊木主事】**

2、3週間で会議録をまとめてから、市のホームページに掲載するため、処理を行うタイミングにもよるが、最長1か月を見ていただければ間違いない。

**【武江一義委員】**

発言する前に、事務局がわからないから委員番号と氏名を言っているが、まだ言う必要があるのか。

**【熊木主事】**

会議中にメモを残しているため、余程皆さんが同時に話をされるようなことがない限りは大丈夫である。

**【古田所長】**

急ぐのであれば、ホームページに掲載する前に会議録が完成した段階で郵送することも可能である。

**【武江一義委員】**

- ・昨日会議があり、翌日には見る事ができればよいのだがと思った。
- ・前は、見られた気がした。

**【古田所長】**

要点をまとめるような作成の仕方をしているため、業務の状態によっては2週間ほど日数を要する。そこから各決裁を行うため、4週間ほどみていただきたい。

**【丸田新一委員（委員番号9番）】**

- ・地区別懇談会には参加できなかったが、聞きたいことがある。
- ・岩栗の旧グラウンドが土捨て場になっているが、コンクリート殻も混ざっているし整地もしておらず、見栄えが悪い。何とかするつもりはないのか。

**【滝沢次長】**

- ・いつきれいにするかという回答はできない。
- ・新たに土を捨てたいという話がある。
- ・総合事務所としても現在の状態に問題があると思っている。

**【丸田新一委員（委員番号9番）】**

- ・なぜかというのと、整地していないと捨てた残土の量を計算することができない。
- ・誰が見てもみすばらしい。
- ・道田線の工事が始まれば、おそらくその残土も岩栗に捨てられるであろう。そうなれば、なおさら適切に管理されていないのはよろしくない。

**【中村会長】**

残土を捨てるのはまだしも、コンクリート殻が混ざっているのは良くないのではないかな。

**【滝沢次長】**

- ・春先に話を聞き、8月に状況の整理等を行うようにしていた。

**【小林G長】**

- ・現在市の工事では使用していない。
- ・使用することになった際は、コンクリート殻が混ざるようなことがないように、監督させていただく。

**【中村会長】**

今までだって、誰かが勝手に捨てていたわけではないであろう。

【丸田新一委員（委員番号9番）】

市の工事で出たものだけであるはずだ。

【中村会長】

市の工事で使用していたのであれば、資料を調べれば何の工事で出たものなのかわかるであろう。コンクリート殻が混ざっているのであれば、なおさらである。

【飯田國男委員】

- ・失礼な話かもしれないが、どさくさに紛れて捨てる業者も無きにしもあらずである。
- ・町内会の残土捨て場があるが、捨てた記憶のないものが混ざっていることがある。

【高橋光成委員】

勝手に捨てられないような対策はしていないのか。

【丸田新一委員（委員番号9番）】

敷鉄板の状態ですべて捨てられるようになっている。

【高橋光成委員】

過去にも同じような問題があったかと思うが、そのような状態にならないようにしてほしい。

【中村会長】

では、他に何か、この際なので聞きたいことなどあるか。

【武江一義委員】

所長権限の予算の使い道を聞きたい。

【古田所長】

- ・所長権限の予算は、緊急修繕用となっている。
- ・今年度も1件執行した。さわやかサロンで使用する部屋の入口の敷居を直した。
- ・主に施設修繕に使用している。

【武江一義委員】

毎年予算残なく使っているのか。

【古田所長】

- ・緊急の修繕がなければ余るが、昨年は予算額を上回る修繕があった。
- ・基本的に100万円以内での執行となるが、不足する場合は余っているところから、回してもらおうこともある。
- ・一覧をお示しするか。



【武江一義委員】

次回で良いのでお願いします。

【中村会長】

- ・それについては、次回資料を用意するようお願いする。
- ・他に何かあるか。

【滝沢次長】

次回はいつにするか。

【中村会長】

事務局は、何か考えているか。

【滝沢次長】

9月に視察研修があり、各課からの諮問事項もないため、その先については会長、副会長と相談する中で、また皆さんにお知らせするようなことでどうか。

【中村会長】

次回開催について、事務局と決めさせていただくということでよいか。

【高橋光成委員】

もう8月になるため、8月開催の日取りは早く決めていただきたい。

【古田所長】

8月は開催しない。次回開催は、緊急の諮問事項がない限り9月1日以降にと考えている。8月に開催するのであれば、そのように日程調整をさせていただく。

【丸田新一委員（委員番号10番）】

8月は開催しなくてよいのではないかと。9月の視察研修が終わってからがよい。

【中村会長】

今回は7月の末で、視察研修が9月の頭なので。

【高橋光成委員】

次は10月になるのか。

【中村会長】

急な諮問事項がない限り、稲刈り時期を外すということで10月開催が通例であった。それでよろしいか。

(同意の声多数)

【古田所長】

緊急的な報告が必要なものは9月1日にさせていただきます。

【丸田新一委員（委員番号10番）】

個人的な考えだが、地域協議会の開催にあたり会場を移してはどうか。

【古田所長】

他区で実施している、出前協議会ということでよいか。

【丸田新一委員（委員番号10番）】

- ・昼間ではなく、夜にしてはどうかとも思う。そうすれば、傍聴に来られる人もあるのではないか。
- ・地域協議会が何をやっているのかわからないという声がある。
- ・地域協議会だよりも発行しているが、見る人はなかなかいない。
- ・であれば、各地区を回ったらどうかと思った。

【中村会長】

- ・今の意見について、皆さんはどう思うか。
- ・もしやるのであれば、地区別懇談会を実施したくらいの時間帯でなければ難しいのではないか。
- ・今までどおり14時からといわけにはいかないだろう。

【古田所長】

開催時期にもよるが、夜より昼間のほうが良いという声もある。年配の方だと昼間、若い人は夜。

【高橋光成委員】

きちんとした協議内容でないと、かえって何を協議しているのかということになる。

【中村会長】

この件については、皆さんに考えていただいて、次回以降に協議するということがよいか。

(同意の声)

では、以上をもって第3回地域協議会を閉会とする。

9 問合せ先

大島区総合事務所総務・地域振興グループ TEL：025-594-3101（内線61）

E-mail：oshima-ku@city.joetsu.lg.jp

## 10 その他

別添の会議資料も併せてご覧ください。